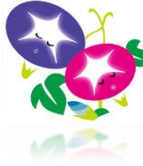


Sawamoto Dental Office News

2017年7月号



海や山から夏の便りが相次いでおりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
今月のSawamoto Dental Office Newsは「お薬手帳」について特集してまいります。



●持病のある方、歯科受診にもお薬手帳を忘れずに！

病院や薬局に行くときは「お薬手帳」を持って行くけど「歯科医院ではいらないだろう」と思っていないですか？実は歯科も、お薬手帳をお持ちいただけるととても助かるのです。歯科の治療は、患者さんが想像している以上に、患者さんの持病や、持病の治療薬に影響を受けます。

治療後の経過を良くしたり、治療を安全に行うために、持病や服用しているお薬について、できるだけ正確な情報がほしいと思っていますので、お薬を常用している方は、ぜひ歯科医院にも「お薬手帳」をお持ちください。



●歯科の問診票ではなぜ身体の事まで聞かれるの？

持病があると、歯科治療後の歯ぐきの傷が治りにくかったり、持病の治療のために飲んでいる大事なお薬が、歯科治療の際に副作用を起こして治療の邪魔をしてしまうことがあるからです。そうとは知らずに治療をし、患者さんが不利益をこうむるといったことは絶対にしたくないので、他科で受けている治療、処方されているお薬をできるだけ詳しく教えてください。



●持病は歯科治療にどう影響するの？

糖尿病の方は？

- ①歯周病になりやすい。
歯周病の炎症が起きやすく、治りにくいという傾向があります。
- ②傷が治りにくく感染しやすい。
手術後や抜歯後の傷がなおりにくく、感染しやすくなります。
- ③血液サラサラのお薬を飲んでいたら...
糖尿病の合併症である心血管病の治療のためのお薬（抗凝固薬、抗血小板薬）を飲んでいたら、外科処置後になかなか血が止まりません。止血処置を念入りに行う必要があります。
- ④低血糖発作を起こすことがある。
食事療法、飲み薬、インスリンなどで血糖値のコントロールして体調を整え、自己判断で食事を抜かないで治療にのぞみましょう。

高血圧とそのお薬は？

- ①出血しやすい傾向が...
血圧のコントロールがされていないと、歯周ポケットの深い所をスケーリングしたり、歯ぐきの切開や抜歯などの外科処置をした時に出血しやすい傾向があります。
- ②血液サラサラの薬を飲んでいたら...
糖尿病の合併症である心血管病の治療のためのお薬（抗凝固薬、抗血小板薬）を飲んでいたら、外科処置後になかなか血が止まりません。止血処置を念入りに行う必要があります。
- ③血圧が急上昇しやすい。
どんなに度胸の良い人も歯科治療は緊張するもの。治療中に血圧が急上昇して、めまいやふらつきが起きては危険です。食事療法や飲み薬で血圧を十分にコントロールして受診しましょう。

食事療法やお薬で血糖値や血圧がコントロールできていれば、基本的には普通に歯科治療が受けられます。
気になること、ご心配なことがありましたら、遠慮なくお尋ねください。
次回のSawamoto Dental Office Newsは「糖尿病、高血圧の方、こんなことにご注意！」について特集してまいります。

